

令和 7 年度

主要施策の成果に関する説明書

(安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン実施状況報告書)

2 主要事業の成果

(抜粋版)

(警察本部)

2 主要事業の成果(抜粋版) 目次

それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

(1) 県民の挑戦を後押し

ア 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる

・ 交通安全施設整備費	[警察本部] …… 421
・ 交番・駐在所整備事業	[警察本部] …… 423
・ 警察本部別館基町庁舎(仮称)建替等整備事業	[警察本部] …… 425

令和7年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費	領域	治安・暮らしの安全
担当課	警察本部	取組の方向	③ 交通事故抑止に向けた総合対策
事業名	交通安全施設整備費（一部国庫）		

目的

交通環境の整備・改善を行うことにより、交通事故の防止を図り、あわせて交通の円滑化に資する。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

交通事故防止及び交通の円滑化のため、信号機の新設等交通安全施設を整備し、安全かつ快適な交通環境を確保する。

(単位：千円)

内 容		当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
交通管制センター機器等	交通管制システム更新等	338,918	324,190	324,190 [－]
信号機	信号機新設、改良等	1,543,130	1,455,153	1,451,693 [－]
道路標識	道路標識の設置等	183,760	182,691	182,691 [－]
道路標示	道路標示の設置等	389,820	398,797	398,797 [－]
維持費等	電気料、専用回線料、保守委託料等	688,046	667,247	655,489 [－]
合 計		3,143,674	3,028,078	3,012,860 [－]

令和7年度の成果目標と実績

○ ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和5年)	目標値 (令和7年)	実績値 (令和7年)
交通事故死者数	78人	60人以下	58人
交通事故重傷者数	826人	700人以下	787人

○ 事業目標：

指 標 名	基準値 (令和6年)	目標値 (令和7年)	実績値 (令和7年)
高齢者、歩行者、自転車、飲酒に関連する交通事故死者数	高齢者 40人 歩行者 28人 自転車 7人 飲 酒 6人	前年実績対比の減	高齢者 34人 歩行者 18人 自転車 11人 飲 酒 4人
高齢者、歩行者、自転車、飲酒に関連する交通事故重傷者数	高齢者 277人 歩行者 198人 自転車 165人 飲 酒 11人	前年実績対比の減	高齢者 284人 歩行者 191人 自転車 179人 飲 酒 5人

令和 7 年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 交通事故実態等に即した交通安全教育や交通指導取締り等の交通事故抑止対策を推進した結果、年間の交通事故死者数は 58 人と、統計を保有する昭和 23 年以降で最少となり、指標を達成した。
- 交通事故重傷者数については、発生の約 3 分の 1 を占める高齢者の重傷者数が高止まりしていることが全体減少を妨げたため、目標値の達成に至らなかったが、全国的には前年比+277 人(+1.0%)と増加傾向にあるなか、広島県では前年比-32 人(-3.9%)と減少傾向にある。
- 交通の安全と円滑を図るため、交通環境の変化等に応じた交通安全施設整備を行う必要がある。
- 整備後、長期間が経過した交通安全施設の老朽化が進んでおり、倒壊や誤作動などの事案を発生させないよう、適切な管理や計画的な更新を行う必要がある。

令和 8 年度の取組方向

- 高齢者の重傷者数が高止まりしていることから、高齢者に対して様々な機会を活用した交通安全思想の普及啓発を行うなど、各種対策を推進する。
- 交通安全施設の整備については、目標達成に向けて、県民の要望のほか、交通事故の発生状況や交通環境の変化等を総合的に踏まえ、効果的かつ必要な場所への整備を行う。
- 生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備に向けて、「ゾーン 30 プラス」や歩車分離式信号の整備を推進し、歩行者保護に重点を置いた対策を推進する。
- 信号機や標識について、保守業者による点検及び日常の警察活動を通じた常時点検により状況を把握し、必要に応じた補修等の措置を迅速に講ずる。

令和7年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費
担 当 課	警察本部
事 業 名	交番・駐在所整備事業（単県）

目的

「安全・安心をもたらす警察活動」の拠点であり、地域住民の拠り所として重要な施設である交番・駐在所について、老朽化した施設の計画的な建替整備を行う。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

1 本通交番の代替施設借受 (単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
本通交番の代替施設利用に係る使用料等	5,566	5,566	5,513 [—]

2 老朽化の著しい次の交番・駐在所について、建替整備を行う。 (単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
・伴交番（安佐南警察署） 現地建替工事を行う	37,728	38,083	38,083 [—]
・川西駐在所（三次警察署） 移転建替工事を行う	57,376	57,021	52,170 [—]
・河内駐在所（佐伯警察署） 移転建替工事を行う	54,003	54,003	46,572 [104]
・広島駅交番（広島南警察署） 移転建替工事のための設計委託を行う	5,835	5,835	5,293 [—]
・海田市駅前交番（海田警察署） 移転建替工事のための設計委託を行う	4,945	5,147	5,147 [—]
・三高駐在所（江田島警察署） 移転建替工事のための設計委託を行う	6,075	5,873	4,888 [—]
小 計	165,962	165,962	152,153 [104]
合 計	171,528	171,528	157,666 [104]

令和 7 年度の成果目標と実績

○ 事業目標と実績

	目標値	実績値
R5	4 施設の建築 3 施設の設計	3 施設の建築（1 施設は繰越） 3 施設の設計
R6	4 施設の建築（前年度繰越分含む） 3 施設の設計	3 施設の建築（1 施設は繰越） 3 施設の設計
R7	3 施設の建築（前年度繰越分含む） 3 施設の設計	3 施設の建築 3 施設の設計

令和 7 年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 「安全・安心をもたらす警察活動」の拠点となる交番・駐在所の計画的な建替整備を推進するため、老朽化の著しい 3 施設の建築（前年度繰越分含む）及び 3 施設の設計を完了した。

県民の安全・安心な暮らしを確保するため、引き続き、交番・駐在所の計画的な建替整備を推進し、機能維持を図る必要がある。

令和 8 年度の実施方針

- 老朽化が著しい交番・駐在所の計画的な建替整備を推進するため、現地調査に基づき、交番・駐在所に必要とされる機能や、デザインビルド方式といった新たな整備手法の導入による事業費の削減方法等を引き続き検討し、計画的な施設整備を推進する。

令和7年度主要事業の成果

支出科目	款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費
担当課	警察本部
事業名	警察本部別館基町庁舎（仮称）建替等整備事業（単県）【一部新規】

目的

老朽化し、狭隘かつ耐震性のない警察本部別館基町庁舎を建て替え、併せて広島市内に点在している別館庁舎を集約し、警察本部機能の強化を図り、県民の安全、安心な暮らしを確保する。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

1 新庁舎の整備関係

（単位：千円）

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
建築設計 ○ 新庁舎建築設計に要する委託費（コンストラクションマネジメント委託を含む）	108,480	97,480	95,986 [—]

2 別館基町庁舎（北館・南館）の解体工事等

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
解体工事【新規】 ○ 別館基町庁舎（北・南館）解体工事及び廃棄物処分費等	(債務 286,806) 180,916	(債務 286,806) 134,241	129,218 [—]
移転関係 ○ 別館基町庁舎（北・南館）の一部所属の移転費	16,918	4,793	4,793 [—]
小 計	(債務 286,806) 197,834	(債務 286,806) 139,034	134,011 [—]

3 仮移転関係経費

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
仮庁舎の活用 ○ 旧広島南警察署敷地内にある仮庁舎リース費 ○ 旧広島南警察署通信回線費等	18,346	13,913	12,651 [—]
民間ビルの賃貸借等 ○ 民間ビル賃貸借費 ○ 民間ビル改修費、通信回線費等	123,244	98,967	85,976 [—]
小 計	141,590	112,880	98,627 [—]
合 計	(債務 286,806) 447,904	(債務 286,806) 349,394	328,624 [—]

令和 7 年度の成果目標と実績

- 事業目標：令和 12 年度の新庁舎開庁に向けた、新庁舎の設計等を実施
(令和 6 年～令和 8 年：設計 令和 9 年～令和 12 年：建設工事)
- 実績：新庁舎の基本設計（2 年目）、実施設計（1 年目）の実施
別館基町庁舎（北・南館）の解体工事（1 年目）等の実施
旧広島南警察署敷地内にある仮庁舎リース及び同庁舎の維持・管理の実施
仮移転先となる民間ビル等の改修工事が終了し、仮移転が完了

令和 7 年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 別館基町庁舎新築に必要となる建築設計について、基本設計（2 年目）が終了し、実施設計（1 年目）を開始した。
- 別館基町庁舎（北・南館）から排出された廃棄物を処分し、解体工事（1 年目）に着手した。
- 別館基町庁舎（北・南館）の入庁所属について、旧広島南警察署敷地内にある仮庁舎及び民間ビルへの仮移転が、予定どおり完了した。

令和 8 年度の実行方針

- 新庁舎の設計を行いながら、別館基町庁舎（北・南館）の解体工事を進める。